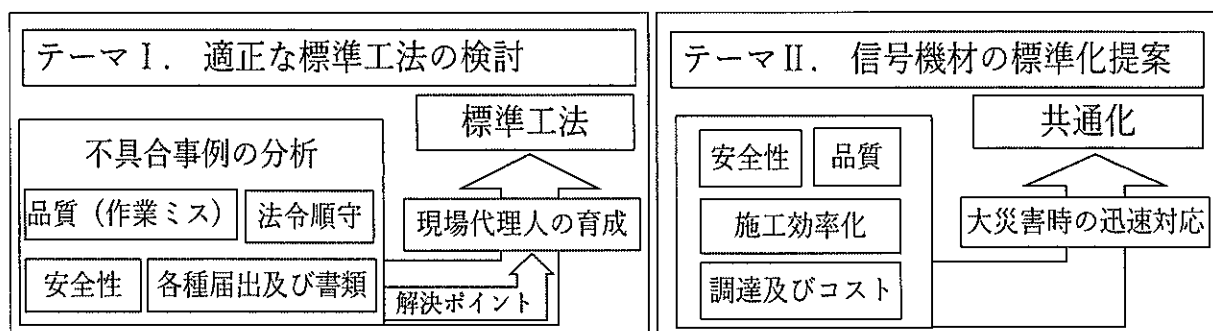


平成30年5月21日
 交通信号工事品質向上研究委員会
 工事適正化作業部会長 篠原正伸

1. 活動の方向性

作業部会の設置ミッションの具現化に向けて、二つのテーマの活動を行います。



2. 今年度の活動計画

< テーマⅠの活動 >

☑ 『交通信号工事安全必携ハンド（安全・法令）』について

- ・現場代理人の役割と安全呼称法等の運用実態を踏まえ、編纂作業に向けて検討を実施
 場での必要性、現場代理人及び作業員にとって見やすくわかり易いポイントの観点で
 検討を進め、今年度中に編纂の必要性についても判断をする。

⇒現

☑ 『不具合事例』について

- ・20事例の不具合について内容を報告し共有化し、詳細検討事例として5事例を選定
 ⇒今後は事例の当該会社にて発生原因の真因と改善策をまとめ、作業部会で徹底した原因
 の解析検討を行う。また、ある程度の整理が出来た段階で、現場代理人の勉強会等で
 事例研究として意見等を吸い上げ、不具合事例集として活用することも検討する。

☑ 『不調・不落』について

- ・不調・不落の実状・改善策について、アンケート・ヒアリングを実施し改善プロセスの相関図を作成
 ⇒入札制度等の変更等による具体的な効果については当面は状況推移をみて検討する。

☑ 『標準工法』について

- ・工法のバックグラウンドがわかる逐条解説については、専門性と編纂作業にかかる工数等を
 考えると、新たな作業部会の設置も含め検討を進める。

< テーマⅡの活動 >

☑ 『信号工事機材調査』について

- ・未調査カ所の継続調査と製品仕様の充実を図ると共に、モデル部材での仕様の共通化に向けて
 の課題抽出とお客様への課題提起を行う。

⇒防災観点から「非常用電源プラグ」について共通化の方策を検討し具現化の布石を打つ。